



富山県
魚津市

令和7年度

企業版ふるさと納税

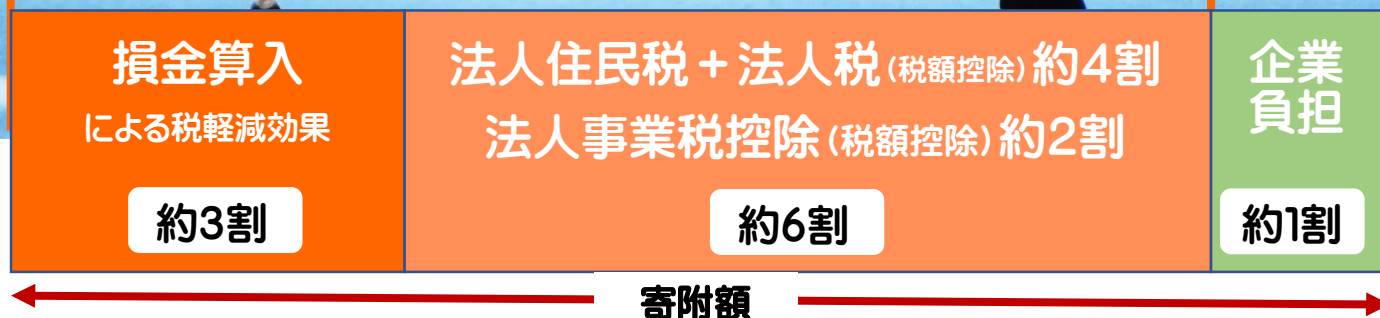
■企業版ふるさと納税について

国が認定した地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して企業が寄附を行った場合に、法人税関係税から税額控除する仕組みです。

令和2年度より、地方創生の更なる充実・強化に向けて、地方への資金の流れを飛躍的に高める観点から、制度が見直され、**損金算入による軽減効果（寄附額の約3割）**と合わせて、**最大で寄附額の約9割の軽減効果があります。**

企業版ふるさと納税を活用した場合の軽減効果

最大9割
軽減！



例：1,000万円を寄附すると、最大900万円の法人関係税（法人住民税・法人事業税・法人税）が軽減され、実質的な企業負担は約100万円となります。

※具体的な試算については、税理士などにご確認ください。

■企業にとってのメリット

社会貢献
企業としてのPR効果
（SDGsの達成など）

当市との新たな
パートナーシップの構築

地域資源などを活用した
新事業の展開

■寄附の流れ

ご相談・お申し出
（企業様→魚津市）

対象事業や寄附金額が決定しましたら、寄附申出書をご提出いただきます。

ご寄附
（企業様→魚津市）

当市が発行する払込票を使用し、寄附の払い込みをお願いいたします。

受領証の交付
（魚津市→企業様）

受領証を発行・送付いたします。

税申告のお手続き
（企業様→税務署）

受領証を使用して、税申告のお手続きをお願いいたします。

【制度活用にあたっての留意事項】

- ・1回あたり10万円以上の寄附が対象です。
- ・寄附を行うことの代償として経済的な利益を受け取ることは禁止されています。
- ・本社や主たる事業所が魚津市内に存在する企業については、魚津市に寄附することはできません。

【問い合わせ先】

魚津市企画部企画政策課企画係

〒937-8555 富山県魚津市釈迦堂1丁目10番1号

TEL: 0765-23-1067

mail: planners@city.uozu.lg.jp

魚津市のプロジェクトメニュー

第2期魚津市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく取組について、企業の皆様からの寄附を募集しています。

■魅力あるしごとをつくりそだて、若者・女性に働く場として選択されるまち事業

豊かな自然を生かした第一次産業や基幹産業である製造業のほか、卸売・小売業、サービス業などにおいては、ICT等の活用などデジタル実装の取組を加速することで産業の振興を図り、安定雇用を継続することが必要です。様々な分野の仕事を創出し、働き続けることができる環境整備を官民連携で取り組むことにより、若者・女性が希望を実現し、やりがいを感じながら働くことができる、働く場として選ばれるまちづくりを推進します。

■にぎわいの空間をつくり、魚津への新しいひとの流れをつくる事業

これまでの移住・定住サポートに加え、テレワークなどの新たな働き方の支援など新たな働き方や豊かな暮らしの支援を強化し、良好な住環境の維持に努めます。観光振興においては観光産業の底上げという視点も含め、官民連携による効果的な取組を推進します。また、日本に現存する水族館の中で最も長い歴史を誇る魚津水族館の維持と魅力化に努め、来訪者の増加に努めます。

■安心・安全な暮らしを守り、子どもを地域全体で育てるまちを目指す事業

これから結婚や出産を迎える若い世代が、安心して働き、家庭を持つことができるような環境の整備に努めます。また、災害に強いまちづくりと安全な暮らしを守る取組等、安心して子育てを行える環境整備を行い、子育て世代から選ばれ住み続けてもらえるまちを目指します。さらには、学校教育の充実にあたりデジタル技術を取り入れながら、英語教育やプログラミング教育、ふるさと教育を通じた児童・生徒の育成に努めます。

■活力ある地域をつくり、持続可能なふるさと魚津を目指す事業

人口減少社会にあって、質の高い持続的な成長を伴う社会を将来世代に引き継いでいくためには、本市に関わるすべての人・団体・事業者が一体となったまちづくりを進めていくことが必要です。

地域資源を活用しながら地域の課題解決に向けた活動を推進し、中・長期的な取組としてゼロカーボンシティの実現や、再生可能エネルギーへの転換、自然資源の保全活用等について、あらゆる主体と連携しながら取り組みます。



魚津市まち・ひと・しごと創生総合戦略



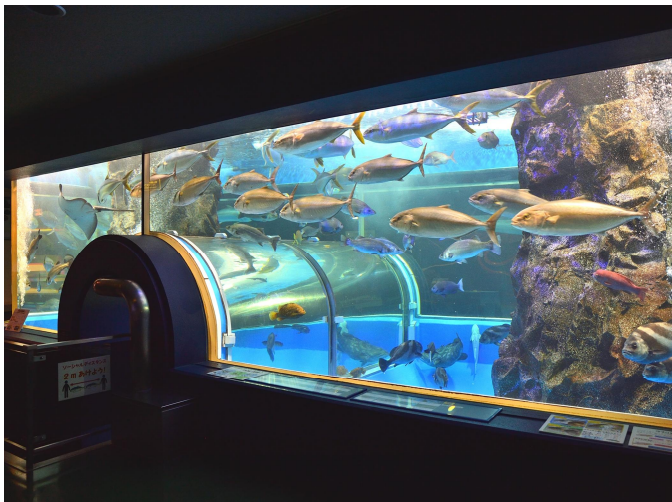
主な対象事業

■にぎわいの空間をつくり、魚津への新しい人の流れをつくる事業

現存最古の水族館を未来につなぐプロジェクト2025

目標金額2,500万円

初代魚津水族館は、北陸本線の全線開通を記念して大正2年に開催された「1府八県連合共進会」の第二会場として建設された日本海側初の水族館です。昭和29年には「富山産業博覧会」の魚津会場に2代目魚津水族館が建設され、現魚津水族館は昭和56年に開館した3代目となります。富山県唯一の水族館として「北アルプスの溪流から日本海の深海まで」をテーマに展示を行い、日本で最初に作られた「全面アクリル製の水中トンネル」があります。教育・レクリエーション・調査研究施設として重要な役割を担っており、「地域の未来のために続けたい魚津水族館の取組」として①富山の水生生物を中心とした展示・解説、②富山の自然を未来に引き継ぐための人材育成③富山県の河川や富山湾での調査・研究活動に力を入れております。3代目水族館は、開館からまもなく45年を迎えることから設備更新が急務となっております。日本で最古、また富山県唯一の水族館をこの先も維持し、地域づくりに活かすため、寄附を募集しております。



■上記以外の事業についてはご相談ください

企業の皆様のご要望に応じて、令和7年度に予算化された各種事業の中から、企業版ふるさと納税の要件に適合する、寄附可能事業をご提示します。



魚津市はこんな街です

本市は、富山県の東部に位置し、富山市から東へ25kmの距離にあり、総面積は200.61km²です。北東は布施川を境に、黒部市と、南西は早月川を隔てて滑川市・上市町と接しています。北西には富山湾が広がり、「蟹気楼・埋没林・ホタルイカ」が本市の三大奇観としてよく知られています。

南東部は最大標高2,415mに達する山岳地帯で、北アルプスに連なっています。これらの山々を源として、片貝川、布施川、早月川や角川などの河川が、市内を潤しながら富山湾に注いでいます。市域の約70%が標高200m以上の急勾配な山地で占められ、台地から平坦地、海岸へと穏やかな斜面を形成しています。

海岸線は比較的平坦で、その延長は約8kmですが、海中では海底が急斜面となり深層まで落ち込んでいます。そのため、魚津の港は昔から良港として船の出入りが多く、海底の湧水に育まれ魚の種類も量も豊富で魚津の名のごとく県下屈指の漁場として広く知られています。

